2020.12.15改変

広域科学専攻の廃棄物について

＜ 目次 ＞

1. 廃棄物倉庫の場所について
   カードキー開錠廃棄物倉庫・鍵開錠廃棄物倉庫
2. カードキー開錠廃棄物倉庫の配置図
   生ごみ・紙屑等（事業系一般廃棄物）…右エリア
   プラスチック・ゴム類、一部の金属・・・・左エリア
3. 事業系一般廃棄物と産業廃棄物（分別のお願い）
4. 実験系プラスチック処理の流れ
5. 鍵開錠廃棄物倉庫の配置図
   金属・ガラス類・その他
6. 電池の分別表
7. その他の廃棄場所「有害固形廃棄物（L分類）」
8. その他の廃棄場所「感染性廃棄物」
9. その他の廃棄場所「ダンボール廃棄ボックス」
10. 廃棄物分別表（1）---カードキー開錠廃棄物倉庫への廃棄物（紙屑等/プラスチック・ゴム類）
11. 廃棄物分別表（2）---鍵開錠廃棄物倉庫への廃棄物（金属・ガラス類）
12. 廃棄物分別表（3）---鍵開錠廃棄物倉庫への廃棄物（その他）
13. 廃棄物分別表（4）---廃棄物倉庫には廃棄できないもの
14. 廃棄物分別表（5）---資源ごみ
15. 変更事項の記録

15･16号館裏廃棄物倉庫

15号館西側扉

鍵開錠 廃棄物倉庫

鍵は、専攻事務で貸し出します。

・金属類・ガラス類

カードキー開錠 廃棄物倉庫

・生ごみ・紙屑・木屑・繊維屑

・プラスチック類・ゴム類
一部の金属類

カードキー開錠廃棄物倉庫の配置図

実験系プラスチック
（チップ、チューブ、シャーレ、ピペット、ポリ薬品瓶、キャップ、包材等）
一般プラスチック類
アルミホイル・一斗缶
（上記以外の金属・ガラス・陶器は除く）

産業廃棄物

生ごみ・紙屑・木屑
繊維屑等のみ

※ゴミの分別方法は家庭と事業所では異なります。プラスチック類は混入させないで下さい。混入があると、区の焼却施設に搬入できません。

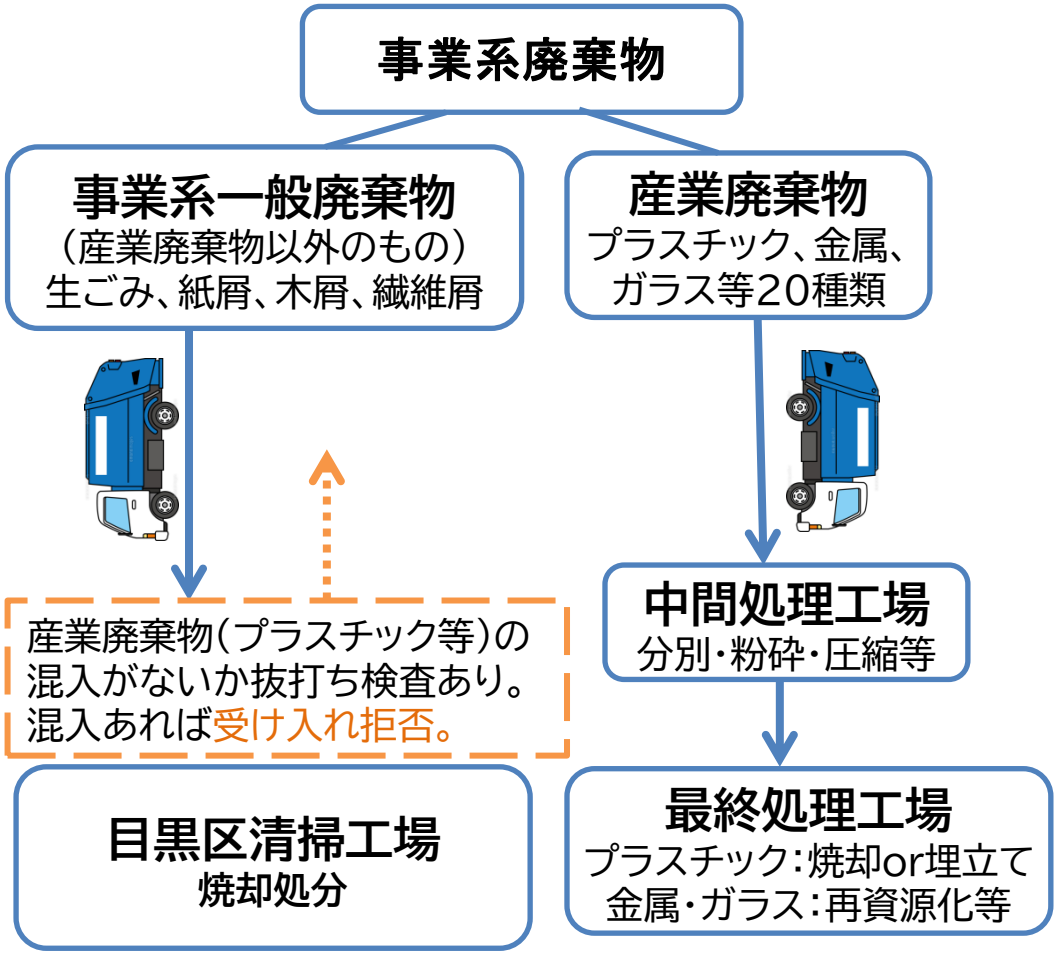
事業系一般廃棄物

入　口

- 有害物質付着・生物系汚染・内容物がない状態で。
- 中身が出ないよう透明ポリ袋に入れ、研究室名（連絡先）を明記のこと。
- 概ね1辺が50cm未満のもの。それ以上のものは環境整備で排出のこと。
- 一斗缶等は、中身・臭気のない状態で、フタを取って出して下さい。
- アルミホイルは袋を分けて、出して下さい。
- 金属・ガラス・陶器類を混入させない（隣の倉庫の所定場所に入れること）。
- 実験系プラスチック処理方法は4ページ参照。

事業系一般廃棄物と産業廃棄物

可燃ごみ(事業系一般廃棄物)に
プラスチック類を混入させないでください。



大学から出るゴミは事業系廃棄物となり、家庭ごみの分別と異なります。

可燃ごみ(事業系一般廃棄物)は、廃棄物処理業者により目黒区の清掃工場に運ばれますが、産業廃棄物であるプラスチック等が混入していた場合、受入れ拒否されます。

そこで業者は混入がないかを確認して回収しています。プラスチックが多く入ったゴミ袋は産業廃棄物として処理されます。

分別に御理解ください。

また、ダンボール、雑紙、瓶、缶、ペットボトル等再資源化できるものの分別にも御協力お願い致します。

実験系プラスチック処理の流れ

【ここに廃棄してはならないもの】
有害物質の付着があるもの→L分類or感染性廃棄物
付着物があるもの→感染性廃棄物
シリンジ等の疑似感染性物→感染性廃棄物

実験系プラスチック
チューブ、チップ、
シャーレ、ピペット等

生物系汚染は
あるか

NO

YES

オートクレーブ
や次亜塩素酸ナ
トリウム等で滅
菌して下さい。

内容物や付着物は
あるか

YES

内容物は取り除き、
洗浄してください。

NO

乾燥して
いるか

NO

乾燥機等で乾燥
してください。

YES

中身が突き出ない強度
のポリ袋に入れ、研究
室名(連絡先)を明記

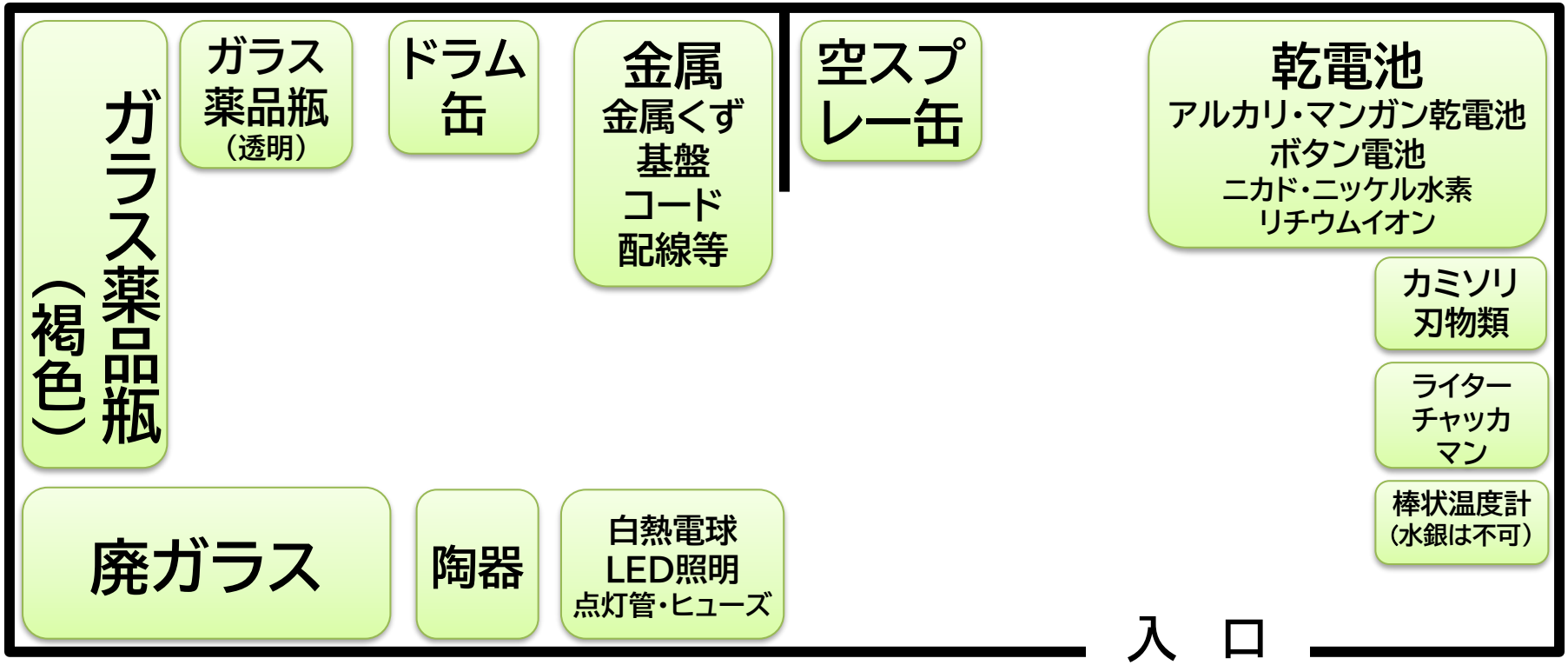
素手でさわれる
状態で！

15･16号館裏　廃棄物倉庫左側
(カードキー開錠)に廃棄

ポリ薬品瓶等は、必ず
洗浄し、ラベルに洗浄
済みと記入しフタを
取って廃棄。

回収車に投げ入れるので、
あまり重くなりすぎないよ
うにして下さい。

鍵開錠廃棄物倉庫の配置図



- すべての廃棄物は、有害物質付着・生物系汚染・内容物がない状態で。
- ガラス薬品瓶は充分洗浄し、ラベルに洗浄済と明記。フタは外しプラスチックごみへ。
- スプレー缶は中身がないことを確認し、屋外で穴をあけること。（倉庫に穴あけ器あり。）
- 中身の残るスプレー缶、一部の電池、蛍光灯等はここに排出できません。
- ボタン電池・ニカド・ニッケル水素・リチウム電池は必ずテープで絶縁し分別すること。
  電池の分別は6ページ参照のこと

電池の分別表

電池の種類		テープでの絶縁	回収容器	備考
1次電池	マンガン・アルカリ乾電池	しない	マンガン・アルカリ乾電池専用容器へ	
	リチウム系乾電池	望ましい	リチウム系専用容器へ	
	ニッケル系乾電池	望ましい	ニッケル系専用容器へ	
	ボタン電池(リチウム系は分別すること)	必須	・リチウム系ボタン電池 ・その他ボタン電池 専用容器へ	ボタン電池店頭リサイクル情報 http://www.botanki.al リサイクル回収対象ブランドは、極力店頭の回収容器へ 小型充電池等店頭リサイクル情報 https://www.jbrc.com/
充電池 小型バッテリー	ニッケルカドミウム(Ni-Cd) Ni-Cd	必須	ニッケル系専用容器へ	
	ニッケル水素(Ni-MH) Ni-MH	必須		
	リチウムイオン(Li-ion) Li-ion	必須	リチウム系専用容器へ	

※新品や使い切っていない電池をやむを得ず廃棄する場合は、必ず絶縁し、専用回収箱に入れて下さい。

※鉛蓄電池は扱いません。塗料・バッテリー回収へ(13ページ参照)

※リチウムイオンポリマー電池(プラスチックフィルムでラミネートされたもの)は水銀回収へ(13ページ参照)

※絶縁の方法は以下をご参照ください。

https://www.jbrc.com/wp-content/uploads/2018/07/zirei201807.pdf

有害固形廃棄物(L分類)

有害物の種類や母材の材質(紙、ガラス、プラスチックなど)によって小分けしたうえで、各々を透明なポリエチレン袋に入れて密封してください。なお、一つひとつの袋の内容量は10 kg以下としてください。

それぞれの袋にUTCIMS指定のバーコードシールを貼付してください。排出の際は、分別したポリエチレン袋からの漏洩を防ぐため、これらの袋をさらに大きなポリエチレン袋にまとめ入れたのちに、蓋付きポリバケツ(容量20 L程度)に入れて下さい。

内容物の詳細を登録、UTCIMS伝票を作成し2部印刷して回収時に持参する。

(環境安全研究センターの以下のウェブページも参照のこと)

https://www.esc.u-tokyo.ac.jp/management/waste/experiment/chemicalhazard/#1

駒場Ⅰキャンパスの回収場所:16号館西側・野球場奥

回収日時:毎週金曜日10:40～10:55 (GW,夏季,年末年始等に回収休止あり)

問合せ先:環境安全管理室(kankyo-anzen.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

感染性廃棄物

◎専用収納箱上面に
- ・所属研究室名(廃棄料請求先)
- ・連絡先(内線番号)
- ・通し番号/総個数を必ずお書き下さい。

◎ 専用収納箱は、16-111(コピー室)にあります。
側板・底板は必ずセットして下さい(箱強化のため)。

◎箱に記載のある上限ライン以上に廃棄物を入れないで下さい。

◎箱は、回収日(第一木曜)前日16時～当日8時に15号館西側出入口内側の壁沿いに通行の邪魔にならないよう置いて下さい。

◎廃棄料は中箱3,300円、大箱4,400円(税込)です。

◎病原体等で汚染された器具類、また注射針・注射筒等疑似感染性のものや付着物があり通常廃棄できないもの等に御利用下さい。

◎廃棄物は専門業者に引き渡し安全に配慮した上で焼却→埋立又はリサイクル処分されます。

担当:共通技術室　福田(080-3251-5868)

ダンボール廃棄ボックス設置場所

ボックスにナンバー錠を設置予定です。
暗唱番号は、カードキー廃棄物倉庫内に掲示致します。

2025.4.1改変

15･16号館　廃棄物分別表（1）

<table>
<tr><th>区分</th><th colspan="3">内容</th><th>注意事項</th><th>廃棄場所</th><th>排出先</th></tr>
<tr><td>事業系
一般
廃棄物</td><td colspan="3">生ごみ･リサイクルできない紙屑･木屑･繊維屑
（プラスチックを混入させない）</td><td>1辺が概ね50cm未満
（ごみ袋に入る大きさのもの）
※それ以上は環境整備で排出</td><td>カードキー
廃棄物倉庫

右エリア</td><td>週3回　回収
ハイシステム

区清掃工場へ
→焼却処分</td></tr>
<tr><td rowspan="4">産業
廃棄物</td><td rowspan="2">プラスチック</td><td>生活系</td><td>弁当容器･プラ包材･プラ容器
CD･発泡スチロール等</td><td rowspan="3">1辺が概ね50cm未満
（ごみ袋に入る大きさのもの）
※それ以上は環境整備で排出

回収車に投げ入れられる程度の重さで</td><td rowspan="5">カードキー
廃棄物倉庫

左エリア</td><td rowspan="5">週3回　回収
ハイシステム

回収後
中間処理施設で
分別･破砕･圧縮
⇓
最終処理工場で
焼却又は埋立て</td></tr>
<tr><td>実験系</td><td>チップ･チューブ･シャーレ
ピペット･ポリ薬品瓶
ガラス薬品瓶の蓋等
（処理方法は4ページ参照のこと）</td></tr>
<tr><td>ゴム</td><td colspan="2">ゴム管･ラテックス手袋等</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一部の
金属
（右記以外は
鍵付き倉庫
へ）</td><td colspan="2">アルミホイル</td><td>一つの袋にまとめて</td></tr>
<tr><td colspan="2">一斗缶･オイル缶</td><td>内容物･臭気がない状態で。
フタは必ずはずして下さい。</td></tr>
</table>

15･16号館　廃棄物分別表(2)

区分	内容		注意事項	廃棄場所	排出先
産業廃棄物	金属	コード類･配線･金属実験器具 基盤･薬品缶フタ･金属屑等	専用容器へ	鍵開錠 廃棄物倉庫	ある程度たまったら業者に依頼(3～4回/年) ハイシステム 回収後中間処理施設で 分別･破砕･圧縮 ⇓ リサイクル等
		薬品ドラム缶 (容易につぶれないもの) 	内容物･臭気がない状態で。 フタは必ずはずして金属ゴミへ		
		空スプレー缶 (穴をあけたもの)	穴あけ器は倉庫にあります。 空であることを確認し、屋外で穴をあけて下さい。 ※中身があるものは扱いません。 →塗料･バッテリー回収へ		
		カミソリ･刃物	指定場所の専用容器に入れて下さい。 注射針･メスは感染性廃棄物へ		
	ガラス	薬品瓶 破損していても可 褐色と透明はできれば分けて	充分洗浄後、ラベルを剥がすかラベルに洗浄済みと明記すること。 フタは必ずはずし、実験系プラスチックとして廃棄		
		廃ガラス 薬品瓶以外のガラス	袋から出し、専用の容器に直接入れる。 投入時には破片の飛散に注意。保護メガネ推奨。 ガラス以外の素材が混入しないこと。		
	陶磁器	実験器具･生活用品	専用容器へ		

15･16号館　廃棄物分別表(3)

区分	内容			注意事項	廃棄場所	排出先
産業廃棄物	その他	白熱灯･LED電球･点灯管･ヒューズ		専用容器へ 廃ガラス用容器に入れないこと。 ※蛍光灯･殺菌灯は、 16号館B1階段下「蛍光管倉庫」へ	鍵開錠 廃棄物倉庫	特殊回収業者 (ネトア)に依頼 1～2回/年
		電池 別表 (6ページ) 参照	アルカリ･マンガン乾電池	絶縁テープをしないで、専用容器へ		
			リチウム系電池	テープで絶縁し、専用容器へ		担当職員(共通技術室) がまとめて 水銀回収へ(4回/年)
			ニッケル系電池	テープで絶縁し、専用容器へ		
			ボタン電池	テープで絶縁し、専用容器へ リチウム系は分別すること		
		ライター･チャッカマン		可能な限り使い切りガス抜きした 状態で専用容器へ		担当職員(共通技術室) が解体し分別廃棄
		棒状温度計 (赤着色灯油が封入されたもの)		専用容器へ **※水銀温度計は各研究室で水銀回収へ**		担当職員(共通技術室) が中の灯油を取り出し、 ガラスとして廃棄
		実験に使用した植物培養土 (要滅菌)		廃棄方法･場所は fukuda.yuko@mail.u-tokyo.ac.jp にお問い合わせください。	要問合せ	専門業者による回収

2021. 9. 1改変

15･16号館　廃棄物分別表(4)

区分	内容		注意事項	廃棄場所	排出先
産業廃棄物	廃棄物倉庫では扱わないもの	・水銀温度計、水銀を含むもの ・リチウムポリマー電池 (プラスチックフィルムでラミネートされたもの)	廃棄物倉庫には出さないでください	研究室単位で「水銀回収」へ (環境安全研究センター実施) 年4回(施設より連絡あり)	
		蛍光灯(直管・円環・電球型)、殺菌灯		16号館B1階段下 「蛍光管倉庫」	担当職員(施設)が まとめて水銀回収へ (年4回)
		鉛蓄電池		研究室単位で「塗料・バッテリー回収」へ (環境安全研究センター実施) 例年7月頃通知・12月頃実施 施設より連絡あり	
		中身が残るスプレー缶			
		塗料・接着剤等			
		廃油(ロータリー油・モーター油等)		I分類として排出	
		純水製造装置等のフィルター		・交換時に業者に引き取ってもらう ・環境整備で粗大ごみとして排出	
		傘(折り畳み傘も含む)		環境整備で排出	
		有害物質の付着・生物系汚染・内容物 取り除けない付着物のあるもの		適宜　L分類・感染性廃棄物へ	

15・16号館　廃棄物分別表(5)

区分	内容		注意事項	廃棄場所	排出先
資源ごみ	古紙	雑誌・コピー用紙	感熱紙・カーボン紙は、 事業系一般廃棄物へ	建物内の リサイクルBOX	専門業者が回収 (名古路紙業(株)他) ↓ リサイクル
		ダンボール	解体し、折りたたんで。 プラスチック等は取り除く。 ボックスには後日 ナンバー錠設置予定です。 暗証番号は カードキー廃棄物倉庫内に 掲示します。	15号館裏扉横・ 5号館扉横 ダンボール用 ボックスへ	
	飲料容器	ペットボトル・瓶・缶	中身がない状態で。	建物内の 専用容器に 分別して廃棄	

変更事項の記録

＜2020.9.3＞初稿

＜2020.12.15＞
P5： 透明ガラス薬品瓶、棒状温度計置場　追加
P6、12：ボタン電池→リチウム系は分別すること
P11：ガラスの分別→・薬品瓶（破損していても可。できれば褐色と透明を分別）
・薬品瓶以外の廃ガラス

＜2021.9.1＞
P6, 13：リチウムポリマー電池廃棄方法の変更「塗料・バッテリー回収」→「水銀回収」
P9：感染性廃棄物の廃棄料は中箱3,024円、大箱4,104円→中箱3,080円、大箱4,180円

＜2023.1.16＞
P12：実験に使用した植物培養土の排出方法の追加
P2,P10：通常廃棄できるものの大きさ　概ね40㎝未満→50㎝未満（ごみ袋に入る大きさ）

＜2023.4.1＞
P9：感染性廃棄物の廃棄料は中箱3,080円、大箱4,180円→中箱3,300円、大箱4,400円

＜2025.4.1＞
P1：鍵開錠廃棄物倉庫の開錠方法→専攻事務より鍵を借りて各自開けるに統一。
P7：L分類の問合せ先の変更。
P10： 廃棄物回収頻度の変更。